

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2008

平成20年

11.15

目次

田原市制施行5周年記念式典	2
広報サポーターだより 私の大好きなおすすめスポット	4
高松校区	6
神戸小学校「国際理解教育への取り組み」	7
たはらシティニュース	8
田原市民活動支援センターのページ	9
お知らせ	10
連載コーナー	12

歴史の薫りと
深秋の足音!



市制施行5周年。

この5年間で

振り返り、

今後のさらなる

発展を目指します。

「田原市」誕生から5年

田原市制施行5周年記念式典を

開催しました

田原市が平成15年に誕生してから、今年で5周年を迎えました。これを記念して、11月3日(祝)、田原文化会館で、市制施行5周年記念式典を開催しました。式典では、市政に対して特に功績のあった方々を表彰したほか、市民・事業者・行政が一体となり、地球温暖化対策を推進するため、「地球温暖化防止都市宣言」を行いました。

誇りと自信を持って
さらなる発展を目指す



田原市長
鈴木 克幸

平成15年8月20日の市制施行から早5年、そして平成17年10月には渥美半島が一つとなり、3年を迎えました。この間、多くの市民の皆様には多大なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、市制施行後の5年間、本市の基盤づくりを着実に推進してきました。しかし、今日の地方自治体には、さらなる自主・自立の行政運営が求められています。そのため、新田原市誕生を機として、平成18年に第1次田原市総合計画を策定し、「うるおいと活力のあるガーデンシティ」を将来都市像として掲げ、その実現に向け取り組みを進めました。今後も市民の皆様と共に、誇りと自信、高い志を持って、市勢発展を目指してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



地球温暖化防止に向けての宣言文を読み上げた田原中部小学校6年生の3名。左から原瑞穂さん、長浜春佳さん、鵜飼樹人くん。

※地球温暖化防止都市宣言の内容は、12ページで紹介しています。



盛大な記念式典の様子

あゆみ

◆平成13年

〔10月〕 渥美郡3町合併協議会設置

◆平成14年

〔7月〕 渥美郡3町合併協議会休止

〔10月〕 渥美郡3町合併協議会廃止

◆平成15年

〔2月〕 田原町・赤羽根町合併協議会設置

〔4月〕 田原町・赤羽根町合併協定調印式

〔8月〕 「田原市」誕生(田原町と赤羽根町が合併)

〔10月〕 第1回田原市民まつり開催

◆平成16年

〔5月〕 渥美町が住民投票により田原市への編入合併を選択

〔8月〕 田原市・渥美町合併協議会設置

〔12月〕 田原市・渥美町合併協定調印式



◆平成17年

〔10月〕 新「田原市」誕生(田原市と渥美町が合併)



受賞者の皆さん（敬称略／順不同）

◆市政功勞表彰（8名）



白井 孝市
（田原町）



大羽 義市
（高松町）



原 功一
（福江町）



大羽 敏
（神戸町）



川口 完一
（田原町）



藤城 清志
（白谷町）



渡邊 延幸
（高松町）



菰田 明夫
（吉胡町）

◆一般表彰（24名）

地方自治の進展に寄与した方

川口 治吉（豊島町）
富田 秀穂（大草町）
鈴木 勘一郎（赤羽根町）

多田 辰郎（六連町）
大場 克男（赤羽根町）
林 卓士（越戸町）

産業経済の発展に寄与した方

齋竹 敏一（白谷町）

近藤 淺之丞（高松町）

民生の安定に尽力した方

鈴木 徳芳（東赤石）

千賀 廣次（福江町）

小原 伯淳（中山町）

宮本 利寛（福江町）

水野 洋子（高松町）

渡邊 ちぐさ（赤羽根町）

保健衛生事業に尽力した方

北山 郁子（江比間町）

呉 盛豊（豊橋市）

花井 伸浩（田原町）

近藤 堯四郎（田原町）

荒木 香代子（神戸町）

山本 健一（田原町）

林 聰子（田原町）

佐野 弘之介（田原町）

岩瀬 洋（田原町）

奇特篤行者で特に市民の模範となる方

河合 登（野田町）



一般表彰受賞者の皆さん

〔10月〕市章、市民憲章、市の花（菜の花）、市の木（くすのき）を制定

国勢調査実施（人口6万6390人、世帯数2万1761世帯）

〔11月〕平成16年農業産出額全国1位（合併により）

◆平成18年

〔11月〕韓国・ソウル特別市銅雀区と姉妹都市協定締結

〔12月〕第1次田原市総合計画策定

◆平成19年

〔1月〕市制施行後、初の市議会議員一般選挙実施（定数30から20へ）

〔3月〕校区まちづくり推進計画策定

〔4月〕市制施行後、初の市長選挙実施（16年ぶりの選挙戦）

〔6月〕市役所南庁舎完成



〔9月〕吉胡貝塚史跡公園（シエルマよしご）オープン

〔11月〕平成18年農業産出額全国1位（3年連続）

◆平成20年

〔4月〕市民協働まちづくり条例を施行

〔11月〕市制施行5周年記念式典を開催

市民発!
*1

広報サポーターだより

私の大好きな、おすすめスポット

こんにちは。広報サポーターの高橋昌子たかはし まことです。田原市には観光スポットをはじめ、いろいろな施設など、良いところがたくさんあります。なかでも今回は、私のお気に入りの場所と田原福祉専門学校学園祭をご紹介します。皆さんもぜひ足を運んでみてください。

テスト週間などに友達と田原文化会館のフリースペースで、一緒に勉強しました。中央図書館と同様によく利用しています。とても充実した施設です。



高橋昌子

●中央図書館 ☎ 23 局 4 9 4 6

中央図書館
をご紹介します！



●田原市中央図書館は、2002年8月にオープンしました。本の数は、最大35万冊入るそうです。DVDやビデオ、CD、雑誌も借りることができます。インターネットも使うことができます。

池ノ原会館
でお抹茶はいかが？



●池ノ原会館は、田原福祉専門学校前の池ノ原公園の一角にあります。私は今、田原福祉専門学校の選択授業で茶道を受講しているので、池ノ原会館を利用しています。私は抹茶が好きなので、友達にも池ノ原会館の紹介をしたくて、一緒に行ってきました。外観も日本建築の良さがあって、建物の中も日本の風情があふれていて、とても温かみがあり癒されます。

●池ノ原会館 ☎ 23 局 2 4 4 6



▲和の風情あふれる会館内

池ノ原公園の散策で季節を味わった後の、おいしいお抹茶とお菓子は格別！皆さんもお気軽に立ち寄ってみてください。



◀一席300円
いすに腰掛けていただく
立礼席です

市民発!
#2

学生手作りの「たっぶく祭」

私は今、田原福祉専門学校に通っています。4月の入学式から3月の卒業式まで、授業や試験はもちろんです。いろいろな行事があります。今回は、10月17日、18日に開催した「たっぶく祭（学園祭）」を皆さんにご紹介します。

来年は、私たち1年生がたっぶくを引っ張って行く番です！皆さんの力を借りて、たっぶく祭などの行事を盛り上げていきます。たっぶくをこれからもよろしくお願いします。



後夜祭



学園祭



学園祭といえば模擬店！！「焼きそば」や「おだんご」などのメニューは、皆さんに好評で売り上げ絶好調。子どもたちに人気だったのは、「水風船つり」などのゲーム。手をマッサージする「手浴」は「たっぶく」ならではの。学生が着物でもてなす晴れやかな抹茶席も大盛況。たくさんのお客さんに来ていただき、とてもうれしかったです。ありがとうございました。準備から当日まではハードだったけど、その分やり終えた達成感でいっぱいです。

後夜祭では、手作りのハヤシライスなどを食べ、疲れを癒したところで、演劇や「秋葉ダンス」を鑑賞しました。疲れを忘れるくらい大盛り上がりで爆笑！！たっぶく祭を通して、地域の方々や施設の方々との触れ合いがたくさんできました♪そして、本番まで1・2年生で協力し合い、準備してきたので、これまで以上に仲が深まったと思っています。(笑顔)

広報サポーター
カメラレポート



中村都祁子

*「軒花」が変身して「アートフラワー」に！

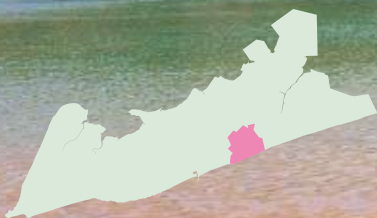
今年の9月6日(土)に開催した、田原市男女共同参画フェスティバル「交流広場」へ、「軒花」(写真右)で作ったアートフラワー(写真左)を、加治町にお住まいの伊藤敬子さんが出品されました。作品の前に「祭りの花のリサイクル」と書いてあるのを見た方たちは「えーこれは、どのようにして作ったのかしら？」と、思わず手に触れてみたそうです。



「簡単にできますよ。軒花の紙をクシヤクシヤと丸めて、竹串や針金に巻き、茎に緑の紙を巻けば出来上がりです。来年は、古い花を取って、新しい花をさせば、新品です。」と、伊藤さんは語ります。「軒花」は、地域でお祭りの時に配布しますが、祭りの後、「可燃ごみ」として袋に入れるのは少しかわいそうだし、「残しておいてもどうしようもないし……結局は「可燃ごみ」行き……」になってしまいます。捨てればごみ、リサイクルすればアートフラワーなのです。

基礎データ

【人口】1,690人(H20.10.31現在)
【世帯】447世帯(H20.10.31現在)
【面積】約650ha
【公共施設】高松保育園・高松小学校・赤羽根文化広場
【史跡】高松新井化石層
【主な産業】農業



高松

●校区自己紹介④

●大正池

「渥美半島キラリ100選」にも選ばれた美しい池。

校区の特色

高松校区は渥美半島の南側中央に位置し、集落は校区の南側を東西に走る国道42号に沿って、細長く形成されている。中央から北側にかけては、温室・ビニールハウスが建ち並ぶ緑豊かな田園地帯となっている。校区内の多くの世帯は、施設園芸を中心とした農業に従事している。

校区の自治組織は、一色・西脇・中村・谷倉・東脇・新井の6組で構成されており、組長会が事業の企画立案と執行、区会が審議・議決機関として設置されている。

未来を担う子どもたちと、高松を支えてきたお年寄りという宝を大切に、「人と人 人と自然 絆を育むまちづくり」を将来像として、校区のまちづくりを進めている。

ふれあい教室に二人の元世界チャンピオン

平成20年1月に校区青少年健全育成会主催による「ふれあい教室」で、元WBC世界スーパーバンタム級チャンピオンの畑中清詞氏をはじめ、元WBA世界ミニマム級チャンピオンの星野敬太郎氏や現役のボクサーを招いて、ボクシン

グ講座を開催した。初心者を対象にした元世界チャンピオンや現役のプロボクサーによる出前講座は、異例中の異例とのことだったが、子どもたちが世界一流のスポーツマンとふれあうことによって、生き方や考え方を学んでほし



●ふれあい教室

いと企画した。

2人のチャンピオンは、「勉強でもスポーツでも、自分の好きなことをあきらめないうで頑張り続けてほしい」と呼びかけた。

駄ボラ吹きと言われようが豊川用水に生涯をかけた郷土の偉人「近藤寿市郎」

渥美半島のみならず、東三河地域の農業・工業をはじめ、人々の暮らしや命を支えている豊川用水。幾度とない干ばつに悩む渥美半島に豊川の水を引こうと考えたのが、わが郷土、高松町生まれの

政治家近藤寿市郎(1870年～1960年)である。彼は、大正10年(1921年)に視察したジャワ島の農業水利事業をヒントに、鳳来寺山に大貯水池を設けて渥美半島の先端まで水路を引くという計画を提唱した。あまりにも夢のような話だったため、「近寿の大ボラ」とも言われたが、実現のため愛知県議会、帝国議会へと東奔西走した。その甲斐があって、構想から約50年を経た昭和43年(1968年)、夢の用水は完成した。しかし、近藤寿市郎は、この完成を見ずに昭和35年に亡くなった。

赤羽根文化広場の丘に建てられた彼の立像は、豊川用水の流れと郷土高松を静かに見守っている。

(文:高松校区)



●近藤寿市郎の立像



学校は、今...

Pick up

神戸小学校

▶ <http://www.city.tahara.aichi.jp/school/kanbe-e/>



田原市では、外国人のALT(英語指導助手)が、国際理解教育の一環として小学校の英語活動や中学校の英語の授業に参加しています。今回は、英語活動に積極的に取り組んでいる神戸小学校をご紹介します。

SCHOOL REPORT ④ 国際理解教育への 取り組み



外国の人と友だちになりたい

Let's Enjoy English ~あいさつをしよう~

英語活動の合言葉は「BIG VOICE(大きな声で)」、「BIG SMILE(笑顔で)」、「EYE CONTACT(目を見合って)」、「BIG ACTIONS(大きな動作で)」です。英語活動に歌やゲームを取り入れ、楽しくわかりやすく学ぶなかで、進んでコミュニケーションをとろうとする気持ちが育っています。



自分の気持ちを英語で伝えたい ~レッツゴーショッピング~

買い物をするスキット(英語での寸劇)を通して、英語での会話を練習しています。神戸ドル(手作り紙幣)を使って買い物をすることができたり、自分の思いが伝わったりしたとき、子どもたちはとてもいい顔を見せてくれます。



英語でもっと遊びたい ~「Go Fish ゲーム」~

子どもたちが英語に意欲や関心をもつために、教材の開発や改善を行ったり、ゲームを取り入れたりするなど、さまざまな工夫をしています。英語カルタを使った「Go Fish ゲーム」や「What's missing?ゲーム」を授業に取り入れたところ、「もっとやりたい!」と子どもたちは大満足です。今では放課になると、英語コーナーで子どもたちの遊ぶ姿が見られるようになりました。

- ※1 「Go Fish ゲーム」…カード合わせゲーム。カードがなくなったら勝ち。
- ※2 「What's missing?ゲーム」…隠されたカードを何か当てるゲーム。

●指導課 ☎ 23局 3679



▲上り坂にも果敢に挑戦！長く続く上り坂は、かなりハード。

10月19日

サイクリングって
気持ちいいね！

愛知県サイクリング協会主催の、**渥美半島ぐる輪サイクリング**が開催されました。渥美半島を自転車でするこのイベントは今年で4回目。天候にも恵まれ、約1800名の自転車愛好者たちは、移りゆく雄大な景色を楽しみながら走っていました。



▲順調にいけば花が咲くのは約5年後。きれいな花が咲きますように！

10月16日

咲かせよう
ハマユウの花

伊良湖岬でハマユウの植栽活動を続けている渥美青年経済研究会が、白谷海浜公園で初めて、地元の子どもたちと一緒にハマユウの苗や種を植えました。白谷の海岸には咲いたことのないハマユウ。開花するよう、みんなで見守っていききたいですね。



▲市長から「自分の力を出し切って」と激励される清田さん(左)。

10月6日

努力でつかんだ
全国への切符

第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会の中学3年生女子3000mに出場を決めた福江中学校3年生の清田真央まおさんが、鈴木克幸田原市長を表敬訪問しました。清田さんは「9分台の記録を出して予選突破を目指したい」と意気込みを語りました。



田原市民活動支援センターのページ

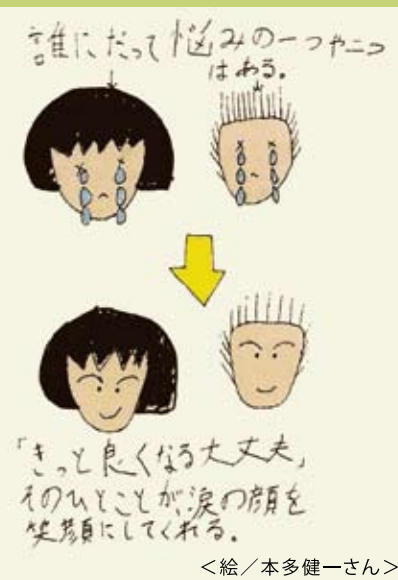


地域の皆さんとつながる

田原市では福祉分野の特定非営利活動法人(NPO)が活発に活動しています。渥美半島で初めてNPO認定を受けたのも福祉部門の団体でした。今回はその中のひとつ・NPO法人おおぞらさんが、企画中のイベントと共に活動をご紹介くださいました。

「この法人は、市民の間に精神障害などの心の病を持つ人々への支援のネットワークをつくり、精神障害者及び心の病を持った人々の地域での生活と、社会参加を支援するとともに、地域活動を行う事を通して障害への理解を深めることを目的とする」(定款より)
 …渥美半島でただひとつの精神障害者のための作業所が、地域活動支援センター「ふれあいの家」になり、現在、NPO法人おおぞらが運営母体となって活動を続けています。

- 目的**
- ① 「心の病」を持つ人々が地域での活動を通して皆さんと「共に生きる」ことを目指します。
 - ② 同じ悩みを持つ仲間同士の交流(スポーツ・料理などの体験)を行い心豊かな活動をします。
 - ③ 地域に「心の病」を持つ人々への関心・理解を深め、安心して生活できるまちづくり・社会参加を支援します。



<絵/本多健一さん>

NPO法人おおぞら 地域支援特別講座
『地域にグループホームをつくるには』
 講師: 杉本寛氏 さざなみ会(豊橋市花田町)代表
 日時: 平成20年12月7日(日) 午後1時~3時
 参加費: 300円(ケーキセット付き)
 場所: あつみの郷 3F 包括支援センターホール
 ♪ HASEさんのスパニッシュギターライブも行います

連絡先 NPO法人おおぞら(ふれあいの家) TEL&FAX: 22-7341

今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先
11/29(土) 午後7:30~	平成20年度 第5回 ANN講座 講師: 鈴木盈宏氏	渥美文化会館 2F 大会議室 参加無料	あつみNPOネットワーク Tel&Fax: 32-3963
12/5(金) 午後1:30~	ゆずりはの会 第90回講演会 講師: 白垣潤氏(岡崎短期大学)	ゆずりは学園(野田町野田尻99-4) 定員30名・参加費1000円	NPOゆずりは学園事務局 Tel: 22-3515
12/7(日) 午後1:00~3:00	NPO法人おおぞら 地域支援特別講座 講師: 杉本寛氏(さざなみ会代表)	あつみの郷 3F 包括支援センターホール 参加費300円	NPO法人おおぞら Tel&Fax: 22-7341
12/13(土) 午後1:30~	DV理解のための講座 講師: 増井さとみ氏 (名古屋YWCAウィメンズカウンセラー)	田原市福祉センター 会議室 託児あり・参加無料(女性どなたでも)	女性会議ウィットWIT Tel: 090-2944-9004 Fax: 23-1679
12/13(土)&17(水) 午前10:00~11:30	お陽さまライブラリー/12月の開館日	田原市福祉センター 1F 子育てひろば	田原市おもちゃ図書館 Tel: 23-0320(鈴木)

市民活動支援センターでは開設時(毎週金・土・日午後2~7時)にはいつでもNPO・市民活動相談などを受け付けています。田原文化会館フリースペースにお越し下さい。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎中です!
 *紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 総務課市民協働係 FAX: 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp
 紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター

おしらせ				
		INFORMATION		

募集

WANTED

子どもに語りつ推進大会

参加者

▼対象 乳幼児から小中学生までの子どもを持つ保護者／子育てグループ・子育てサークル・家庭教育に関心がある方 ▼日時 12月6日(土) 午後0時30分から ▼場所 蒲郡市民会館(蒲郡市栄町) ▼内容 家庭教育を考える学習会、子育て支援を考える交流会、和太鼓集団「志多ら」によるコンサートなど ▼参加料 無料 ▼申し込み 電話にて ▼その他 託児を希望される方は11月25日(火)までにお申し込みください。

▼生涯学習課
☎23局3531 FAX22局3811

山本コウタロー文化講演会

参加者

▼対象 県内在住または在勤の勤労者とその家族 ▼日時 12月8日(月) 午後6時30分～8時 ▼場所 ライフポートとよはし(豊橋市神野ふ頭町3-22) ▼講師 山本コウタロー氏 ▼内容 トーク&ライブ「人を愛し、自然を愛し、平和を愛する」 ▼定員 500名(先着順/要整理券) ▼参加料 無料 ▼整理券 市役所商工観光課にて配布(1人5枚まで)

▼商工観光課

☎23局3516 FAX22局3817

▼愛知県労働協会文化事業課

☎(052)733局6753

FAX(052)733局6554

生活

LIFE

田原市障害者相談支援総合受付センターをご利用ください

平成20年4月から、田原福祉センター1階に、障害がある方やそのご

家族、関係機関の方の相談窓口として、田原市障害者相談支援総合受付センターを設置しています。開設時間内(平日の午前8時30分～午後5時15分)は相談支援専門員が常駐していますので、お気軽にご相談ください。

●開設時間内の問合先

☎23局3812または23局3110
FAX23局3110

✉shogai-sha-sodan@chorus.ocn.ne.jp

●開設時間外の問合先

24時間:365日対応しています。

▼田原市障害者生活支援センター

(赤羽根福祉センター内)
☎45局3828

☎(090)3483局2452

▼田原市社協相談支援事業所

(田原福祉センター内)
☎23局0610

☎(090)9123局7376

▼蔵王の杜相談支援事業所

(田原町西山口)
☎23局7511

☎(090)1418局4880

▼地域生活支援センター Coliabo

(福江町下地)
☎(080)5138局6321



年末の交通安全県民運動 12月1日(月)～10日(水)

年末年始を迎えるこの時期は、最も交通事故が多発する時期です。飲酒運転をなくし、思いやりある運転で交通事故をなくしましょう。また、愛知県は3年連続で交通事故死者数全国ワースト1位です。今年こそワースト1位を返上しましょう。

●重点目標

- ・飲酒運転を根絶しよう
- ・高齢者を交通事故から守ろう
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
- ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう



飲酒運転 しないさせない 同乗しない
思いやる 心とマナーで 事故防止
自転車に 乗ればあなたも 運転者

▼総務課

☎23局3504 FAX23局0180

年末の安全なまちづくり市民運動
12月1日(月)～20日(土)

地域の皆さんと防犯協会や警察が協力し合い、身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行います。地域ぐるみで防犯活動に取り組み、安心して暮らせるまちをめざしましょう。

●重点目標

- ・子どもの安全確保およびひったくりなど街頭で起きる身近な犯罪の防止
- ・住宅・店舗等を対象とした侵入犯罪の防止
- ・振り込め詐欺の被害防止

▼総務課

☎23局3504 FAX23局0180

人権週間

12月4日(木)～10日(水)

人権は、私たち一人ひとりの生命や自由・平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利です。

日常生活を振り返って、「他人の権利を侵していることはないだろうか」「自分の人権が侵されていないだろうか」など、身近なことから人権を考えてみましょう。

日ごろの生活の中で「人権問題で

はないだろうか」と感じた方や「法律上どのようなになるのか」などお困りの方は、お近くの人権擁護委員または法務局にご相談ください。

▼名古屋法務局豊橋支局

☎(0532)54局9278

FAX(0532)54局9280

▼福祉課

☎23局3512 FAX23局3545

**地上デジタル放送の準備を
お早めに**

現行のアナログテレビ放送は、地上デジタルテレビ放送への移行に伴い、2011年(平成23年)7月24日で終了します。そのときまでにテレビやアンテナなどが地上デジタル放送に対応していない場合は、テレビが見られなくなります。お早めにご準備をお願いします。



●地デジの準備って？

- ①アナログテレビにデジタルチューナー(またはチューナー内蔵録画機器)を取り付ける
- ②アンテナやテレビを地デジ対応のものに買いかえる
- ③ケーブルテレビ会社とデジタル放送契約をする など

地デジ対応を口実にした「詐欺」にご注意ください。地デジ対応で、テレビ局や総務省、その関連機関がお金を請求することはありません。覚えのない請求を受けたときは、すぐに支払わず警察署などへご相談ください。



*地デジについての相談受付時間

平日 午前9時～午後9時
土日・祝日 午前9時～午後6時

▼地デジコールセンター

☎(0570)07局0101

※つながらない方・IP電話の方は

☎(03)4334局1111

**ケーブルテレビの加入補助を
終了します**

現在、ケーブルテレビの初期費用(工事調整費用・加入料等)の2分の1(限度額2万円/適用は1回)を補助していますが、平成21年1月末までの加入申し込み(今年度内の工事完了)をもって終了します。地上デジタル放送にも対応しているケーブルテレビに加入をお考えの方は、お早めにお申し込みください。

なお、補助金の申請はケーブルテ

平成21年田原市成人式

11月末現在で、田原市に住居登録されている方には、12月上旬に案内状をお送りします。成人式には、田原市出身で市外に住所のある方も参加できます。希望される方は、12月12日(金)までに生涯学習課へ電話にてお申し込みください。

- ▶対象= 昭和63年4月2日～平成元年4月1日生まれの方
- ▶日時= 平成21年1月11日(日) 午前10時～
- ▶場所= 田原市総合体育館
- 問い合わせ= 生涯学習課 ☎23局3531

寄付



☎24局0466

FAX23局2808

☎22局7200(情報センター)

▼情報システム課

▼豊橋ケーブルネットワーク(株)

ティーズ(田原事務所)

次の方から寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼10月15日、春夏秋冬叢書(そうしょ)代表小坂晃子様から、小中学校の地域学習のため春夏秋冬叢書の書籍287冊。

広がる未来へ

31

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●温暖化防止に向けて⑤

11月3日、田原市は、「地球温暖化防止都市」を宣言しました。これからは、私たち一人ひとりが環境にやさしいエコライフを実践するとともに、あらゆる活動を通じて地球温暖化対策に努め、豊かで持続するまちづくりを推進していきます。

今回、市民の皆さんを代表して宣言してくれたのは田原中部小学校6年生の鵜飼樹人くん、長浜春佳さん、原瑞穂さん。この3名に、自分が見たいエコライフへの取り組みについて聞いてみました。



今月のエコライフ標語

分別は

ほぐがわたしができるよ!

👑 私たちのエコチャレンジ宣言



原 瑞穂さん

●買い物へ行く時は、エコバッグを持って行きます。



長浜春佳さん

●使用していない部屋では、電気の節約を心がけます。



鵜飼樹人くん

●近くに出かける時は、自転車や徒歩で行きます。

この都市宣言を機に、省エネに取り組む皆さんの「エコチャレンジ宣言」も募集しています。詳しくは田原市ホームページをご覧ください。

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX22局3817

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>



省資源とリサイクル

今年の4月からペットボトルで回収できるものが増えました。今回は、ペットボトルについてお知らせします。

ペットボトルの出し方



※ラベルは取らなくてもよい
PET このマークが付いているか確認してください。

ふたはプラスチック容器類

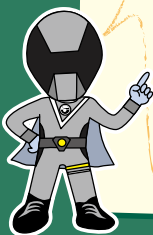
◎ペットボトルの種類

- 酒類のボトル (酒みりんなど)
- 飲料用のボトル (お茶、ジュースなど)
- しょうゆのボトル

◎新たに回収できるようになったペットボトルの種類

- しょうゆ加工品のボトル (めんつゆ、だししょうゆ、すき焼きのたれなど)
 - みりん風調味料のボトル
 - 食酢のボトル (穀物酢、米酢、果実酢など)
 - 調味酢のボトル (すし酢、合わせ酢、ポン酢)
 - ドレッシングタイプの調味料のボトル (ノンオイルドレッシング)
- ※食用油を使用していないもの

これらの5つのボトルには、マークが付いているものもあります。ボトル本体に「PETE」とマークがあることを確認して出しましょう。



▼清掃管理課
☎23局33000
FAX22局38017



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎ 23局3507

姉妹都市 韓国・ソウル特別市 銅雀区との交流

今回は、平成17年に姉妹都市提携を結んだ韓国・ソウル特別市銅雀区との交流をご紹介します。

●銅雀区行政職員研修生の受け入れ

11月3日(祝)～8日(土)、姉妹都市韓国・ソウル特別市銅雀区から行政職員4名が田原市を訪れ、市の行政について学びました。

この研修は、両都市の交流促進と双方の住民サービス向上を目的に、昨年からは実施しています。4回目となった今回、研修生の皆さんは、銅雀区で課題となっている子育て支援や道路管理、環境対策などについて研修を受けました。



▲日本の行政機関をほうふつとさせる銅雀区庁の様子

銅雀区では区内のほとんどが住宅のため、区民の生活環境の向上と、福祉・教育の分野に力が注がれています。

◀市長・議長のもとを訪れた研修生の皆さん

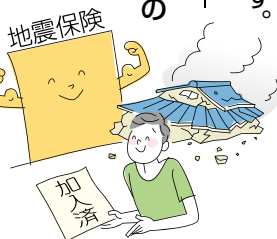
研修のほか、互いのまちの情報交換も盛んに行われました。

■火災保険＋地震保険
地震保険は、単独では契約できません。火災保険とセットで契約する必要があります。すでに火災保険を契約している場合は、契約期間の途中からでも地震保険をセットして契約することができます。

■地震保険とは
地震保険は、地震や津波など、地震が原因で家屋や家財に損害が生じた場合に保険金が支払われる地震災害専用の保険です。火災保険では、建物・家財の火災などによる損害を補償しています。しかし、地震による火災は、火災保険では補償されません。

▼防災対策室 ☎ 23局3548
■保険契約は
地震保険や火災保険の契約は、民間の損害保険会社にお問い合わせください。

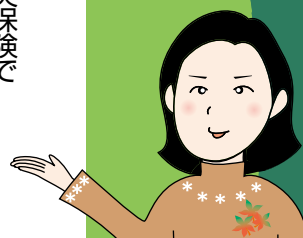
■公共性の高い保険
地震による被災者の生活ができるだけ早く安定するよう、その手助けを目的に「地震保険に関する法律」が1966年に制定されました。地震保険はこの法律に基づいて、国と民間の損害保険会社が共同で運営している公共性の高い保険です。



こんにちは、のりりんです。
阪神淡路大震災のとき、地震による家屋などの被害が火災保険で補償されなかったことから、「地震保険」が知られるようになりました。そこで、今回は「地震保険」のことを簡単にご紹介します。

のりんの
防災まめ知識
地震保険

42



歴史探訪

クラブ

其の
92



History Inquiry Club

文化振興課 ☎23局3635

FAX 22局3811



▲城坂の人造石遺構(福江町)

近代を支えたまぼろしの工法 「人造石」の遺構

まずは左の写真をご覧ください。
福江町の通称「城坂」にある、土地

の段差を支える擁壁です。何の変哲もない石垣のように見えますが、よく見てみると、石と石のすき間がかなり離れていて、普通の石垣とは違うことがわかります。またコンクリートの壁に石が貼られているようにも見えますね。

実はこの工法は「人造石」工法と呼ばれるもので、鉄筋コンクリート工法が普及する前の明治10年から昭和初期ごろまで大規模な工事にも使われていた工法です。この工法を開発したのは、現在の碧南市で天保11年(1840)に左官屋の三男として生まれた服部長七です。長七は、これまで土間、水槽、塀などの小規模なものに使われていた「たたき」を、より良いものに改良しました。

た。そしてこの工法は、皇居の学問所の土間工事などを施工したことで、「長七たたき」として信頼を得ていきます。「人造石」の名は、明治14年(1881)の第二回内国勧業博覧会の会場で、農商務省から雇われた外人技術者が長七のたたき



▲通常の石垣(浦町)

工事を見て、「この人造石は何で作ってあるか」と聞いたことがきっかけのようです。しかし、今日使われている、石に似せた建築材料の人造石とは違います。

この「人造石」工法は、明治10年代から30年代にかけて、当時は高価だった鉄筋コンクリート工法が普及するまでの間、ついには全国各地の海岸の護岸などの重要な土木工事に応用されるまでになりました。特に強固なものにしたい時には、福江町の擁壁のように「たたき」と石を組み合わせました。面白いことに、この人造石の工事は、石垣の職人でもなく、土木工事会社でもなく、左官屋が施工します。というのも、人造石工法に応用した「たたき」自体が左官屋の技術だからです。まさにこの工法は、

西洋の技術を手本に進んでいた明治時代の土木工事に、従来からの日本の技術を活用した当時の人たちの創意と工夫の結晶であるといえます。

素材だけを聞いてみると「強度に不安があるのでは？」と思う方がいるかもしれませんが、人造石構造物は100年経過している今でも、しっかり現役でその機能を果たしています。人造石工法の良いところは安価なこと、そして何よりも丈夫なところなのです。

福江町の人造石遺構は、形の整った花崗岩を使い、見た目も美しく、田原市で確認された中では一番優れた遺構と言えます。(増山)

※「たたき」は石灰とサバ土(マサ土)を水で練り、板・木づちで叩きしめてつくる技法です。古い民家の土間、水槽、井戸枠などで残っています。

今月の「表紙」

▼今月の表紙を撮影した田原城跡は、私のお気に入りスポットの一つでもあります。春は桜、夏は紫陽花、秋は紅葉…。歴史や芸術だけでなく、季節も楽しめます。皆さんも、石畳をゆつたりと歩きながら、城下町500年の歴史を感じ、紅葉を楽しんでみてはいかがでしょうか。(O)

【表紙の写真】田原城跡(田原市博物館)